

「洋書の森」主催

翻訳者のためのウィークエンド スキルアップ講座 第25回



田口俊樹講座 第3弾

翻訳稼業 40年

— 今思うこと、
思わないこと、
わかること、
わからないこと



「翻訳で“ひと山、当てよう！——売れる翻訳文の作り方」(2014年)、「フィクション翻訳への道——仕事師に学ぶプロの条件」(2015年)に続く、田口講座第3弾のご案内です。

今年で翻訳業ほぼ40年という“節目、を迎えられた田口氏——添付の訳書一覧は圧巻の一言です。40年という揺るぎなき年月で培った“翻訳、のあれこれについて、心のうちを語っていただきます。

講座の後半は、課題(ロアルド・ダールの短編とポストン・テランのハードボイルド系作品より出題)の解説です。今回は田口氏のご配慮により、事前に質問を受け付けます。内容は課題に関することだけでなく、日ごろのお悩みや疑問でもOKとのこと。会場で挙手するのは気後れがあっても、文書でなら思い切って質問できますよね。ぜひこの機会をご活用ください。

なお、席数には限りがございます。セミナー後の“洋書の森創設10周年直前記念、クリスマス会とあわせ、お申し込みはお早めに。

◆ 参加要項 ◆

日 時

2016年12月3日（土）15：00～17：00（受付開始14：30）

講 師

田口俊樹 氏（翻訳家）

会 場

日本出版クラブ会館・セミナールーム
（新宿区袋町6番地 都営大江戸線牛込神楽坂駅より徒歩2分）
<http://www.shuppan-club.jp/>

参加費

2,100円

定 員

60名（申込順、定員になり次第締切らせていただきます）

「洋書の森」未会員の皆さまもご参加になれます

講座終了後は毎年恒例のクリスマス会（参加費5200円・飲食代を含む）を講師同席のもと17時30分より、パーティールームにて開催いたします

参加ご希望の方は同時にお申込みください

お申込み・お問合せ

お名前・洋書の森会員番号（会員の方）・ご連絡先電話番号、アドレス・参加人数を明記して
"12/3(講座のみ or 講座・クリスマス会とも or クリスマス会のみ)参加希望、と以下アドレス宛てにE-mailにて送信してください

(財)日本出版クラブ内 「洋書の森」事務局

E-Mail : yousho@shuppan-club.jp

TEL 03(3260)5271

◆講義内容◆

一部

一介の翻訳者が何を思おうと、思うまいと、何がわかろうとわかるまいと、ま、どうでもいいことです。それでも、その翻訳者が翻訳ひとすじほぼ40年のベテランとなると（私のことです、はい）、ちょっと口はばったいけれど、少しは意味があるかとも思い、あえていくつか挙げて、そのそれぞれについて個人的な思いをお話しします。たとえば、「翻訳者は黒子に徹すべきである」。よく言われることですが、これを私はどう思うのか。あるいは、翻訳稼業ほぼ40年でもいまだによくわからない謎なのかどうか。翻訳に関するその手のことを列挙します。

二部

課題文Aと課題文Bをテキストに翻訳のやり方を解説します。課題文はA Bともに後掲されていますので、それぞれ訳して事前に提出してください。みなさんの訳は訳例として匿名で解説に取り上げさせてもらう場合がありますので、提出される方はそのことをご了承ください。なお、課題文Aは最後の一行だけ訳してもらえればけっこうです。課題文Bは全文訳してください。

三部

質疑応答です。課題文だけにかぎらず、翻訳に関わることならどんなことでもけっこうです。これも事前にお知らせ願えればありがたいです。ほんとうになんでも遠慮せず、お訊きください。翻訳で食っていけるのかどうか、なんて下世話なことでもなんでもありです。

※ 講師への質問及び課題文は、11月25日(金)15:00までに「洋書の森」事務局へ届くようにメールでお送りください。

◆講師略歴◆

1950年奈良市生まれ。小学二年生のときに父親の転勤にともなって上京。以来在住。学芸大学附属中学校、高校卒。早稲田大学第一文学部卒。出版社『現代芸術社』及び児童劇団「木馬座」勤務ののち、都立高校の英語教員となる。同時に、早川書房勤務の友人のつてにより、二十七歳から翻訳を始め、教員と翻訳者のいわば二足のわらじ暮らしを十一年経て、三十八歳で高校を退職。以来、翻訳業。翻訳専門学校「フェロー・アカデミー」の講師も務める。

著書

おやじの細腕まくり 講談社 2002.11

ミステリ翻訳入門 アルク 2002.6 (アルク翻訳レッスン・シリーズ)

翻訳

- ダン・J. マーロウ『ゲームの名は死』早川書房 (世界ミステリシリーズ) 1979
ローレンス・ブロック『泥棒は選べない』早川書房 1980 のち文庫
ローレンス・ブロック『泥棒はクロゼットのなか』早川書房 1980 のち文庫
ローレンス・ブロック『泥棒は詩を口ずさむ』早川書房 1981 のち文庫
H.F. ハード『蜜の味』ハヤカワ文庫 1982
ジョゼフ・ディモーナ『アーリントン最後の男』早川書房 1982
ジョナサン・ヴェイリン『獲物は狩人を誘う』早川書房 1983
ローレンス・ブロック『泥棒は哲学で解決する』早川書房 1983 のち文庫
ローレンス・ブロック『八百万の死にざま』早川書房 1984 のち文庫
ローレンス・ブロック『泥棒は抽象画を描く』早川書房 1984 のち文庫
ウェイド・ミラー『罪ある傍観者』河出書房新社 (アメリカン・ハードボイルド) 1985
ローレンス・ブロック『暗闇にひと突き』早川書房 1985 のち文庫
ローレンス・ブロック『聖なる酒場の挽歌』二見文庫 1986
リック・ボイヤール『幻のペニー・フェリー』早川書房 1986 のち文庫
エルモア・レナード『キャット・チェイサー』サンケイ文庫 1986
ローレンス・ブロック『過去からの吊鐘』二見文庫 1987
マイケル・Z. リューイン『刑事の誇り』早川書房 1987 のち文庫
ローレンス・ブロック『冬を怖れた女』二見文庫 1987
クレイグ・ライス『第四の郵便配達夫』創元推理文庫 1988
エルモア・レナード『マイアミ欲望海岸』扶桑社 (サンケイ文庫) 1988
エルモア・レナード『タッチ』早川書房 1988 のち文庫
マイケル・Z. リューイン『男たちの絆』早川書房 1988 のち文庫
ローレンス・ブロック『一ドル銀貨の遺言』二見文庫 1989
アン・タイラー『アクシデンタル・ツーリスト』早川書房 1989
リック・ボイヤール『デイジー・ダックス』早川書房 1989 のち文庫
サム・ルウェリン『魔の帆走』二見文庫 1989
リチャード・ローゼン『サタデーナイト・デッド』ハヤカワ文庫 1989
ロバート・キャンベル『鉄道探偵ハッチ』文春文庫 1990
ロアルド・ダール『王女マメリア』早川書房 1990 のち文庫
ジミー・サングスター『脅迫』角川文庫 1990
ローレンス・ブロック『慈悲深い死』二見文庫 1990
ローレンス・ブロック『緑のハートをもつ女』創元推理文庫 1990
ローレンス・ブロック『墓場への切符』二見書房 1991 のち文庫
チャールズ・バクスター『世界のハーモニー』早川書房 1991
ジャック・ヒギンズ『地獄の季節』早川書房 1991 のち文庫
ロバート・キャンベル『草原の狙撃 鉄道探偵ハッチ』文春文庫 1991
リック・ボイヤール『ナンタケットの墓標』ハヤカワ文庫 1992
デレック・ハンフリー『安楽死の方法』徳間書店 1992
チャールズ・バクスター『安全ネットを突き抜けて』亀井よし子共訳 早川書房 1992.10

ローレンス・ブロック『倒錯の舞踏』二見書房 1992 のち文庫
『ローレンス・ブロック傑作集』1-3 共訳 ハヤカワ文庫 1992-1994
マーティン・H. グリーンバーグ編『新エドガー賞全集』ハヤカワ文庫 1992
ダグ・アリン『モータウン・ブルース』創元推理文庫 1993
『オリヴァー・ストーンのと地』新潮文庫 1993
ローレンス・ブロック『獣たちの墓』二見書房 1993 のち文庫
『ジャッカルのかい ヤング・インディ・ジョーンズ 1』原案: ジョージ・ルーカス 文春文庫 1993
ジョゼフィン・ハート『ダメージ』文藝春秋 1993 のちヴィレッジブックス
ヨナ・オバースキー『チャイルドフード』キネマ旬報社 1994
トマス・アドコック『神なき街の聖歌』ハヤカワ文庫 1994
チャールズ・バクスター『見知らぬ弟』早川書房 1994
フィリップ・マーゴリン『黒い薔薇』早川書房 1994 のち文庫
スチュアート・カミンスキー『我輩はカモじゃない』文春文庫 1994
ピーター・ブラケット『アイ・ラブ・トラブル』集英社文庫 1994
リチャード・ヘンリック『クリムゾン・タイド』集英社 1995
ローレンス・ブロック『死者の長い列』二見書房 1995 のち文庫
ローレンス・ブロック『死者との誓い』二見書房 1995 のち文庫
フィリップ・マーゴリン『封印された悪夢』ハヤカワ文庫 1996
フィリップ・マーゴリン『暗闇の囚人』早川書房 1996 のち文庫
ローレンス・ブロック『処刑宣告』二見書房 1996 のち文庫
ロレンゾ・カルカテラ『スリーパーズ 恐怖の少年院と復讐の記録』徳間書店 1996 のち文庫
ネルソン・デミル『チャーム・スクール』文春文庫 1996
ローレンス・ブロック『泥棒は野球カードを集める』早川書房 1996 のち文庫
ライン・ダグラス・ピアソン『シンプル・サイモン』徳間書店 1997 のち文庫
フィリップ・マーゴリン『氷の男』ハヤカワ文庫 1997
モニカ・セレシュ『私は負けない』徳間書店 1997
バーバラ・ローガン『ブルックリン救急病棟』新潮文庫 1997
マイケル・Z. リューイン『探偵家族』早川書房 1997 のち文庫
ジョン・ディクソン・カー『仮面劇場の殺人』原書房 1997
ピーター・ヘイニング『ディナーで殺人を』深町真理子ほか共訳 創元推理文庫 1998
ローレンス・ブロック『盲目の予言者』二見書房 1998
ローレンス・ブロック『殺し屋』二見文庫 1998
ダグ・アリン『鎮魂のビート』創元推理文庫 1998
ローレンス・ブロック『泥棒はボガートを夢見る』早川書房 1998
フィリップ・マーゴリン『炎の裁き』早川書房 1998 のち文庫
ローレンス・ブロック『皆殺し』二見書房 1999 のち文庫
ジョン・ル・カレ『パナマの仕立屋』集英社 1999
ロレンゾ・カルカテラ『アパッチ NY特攻ゲリラ部隊』徳間書店 1999
ローレンス・ブロック『頭痛と悪夢』共訳 光文社文庫 1999
マイケル・Z. リューイン『のら犬ローヴァー町に行く』早川書房 2000
シーリア・フレムリン『死ぬためのエチケット』創元推理文庫 2000
ローレンス・ブロック『泥棒は図書室で推理する』早川書房 2000
ジョン・ル・カレ『シングル&シングル』集英社 2000
ダグ・アリン『ある詩人の死』山本光伸共訳 光文社文庫 2000
フェレンク・マテ『トスカーナの丘 イタリアの田園暮らし』徳間書店 2000
レノア・テア『「遊べない人」の心理学』講談社 2000
マイケル・Z. リューイン『表と裏』早川書房 (ハヤカワ・ミステリ) 2000
ジョン・ディクソン・カー『月明かりの間 フェル博士最後の事件』原書房 2000 のち早川文庫
デイヴィッド・ベニオフ『25時』新潮文庫 2001
ボストン・テラン『神は銃弾』文春文庫 2001
カーター・ディクソン『第三の銃弾』ハヤカワ文庫 2001
ローレンス・ブロック編『巨匠の選択』共訳 早川書房 2001
ローレンス・ブロック『泥棒はライ麦畑で追いかける』早川書房 2001
オットー・ペンズラー編『復讐の殺人』共訳 早川文庫 2001

マーカス・バックingham、ドナルド・O. クリフトン『さあ、才能に目覚めよう あなたの5つの強みを見出し、活かす』日本経済新聞社 2001

ローレンス・ブロック『殺しのリスト』二見文庫 2002

フランシス・ウィーン『カール・マルクスの生涯』朝日新聞社 2002

ローレンス・ブロック『死への祈り』二見書房 2002 のち文庫

ジョナサン・H. ピンカス『脳が殺す 連続殺人犯:前頭葉の“秘密”』光文社 2002

ロレンゾ・カルカテラ『ギャングスター』新潮文庫 2003

『ローレンス・ブロックのベストセラー作家入門』加賀山卓朗共訳 原書房 2003

ボストン・テラン『死者を侮るなかれ』文春文庫 2003

ジョン・ディクソン・カー『仮面劇場の殺人』創元推理文庫 2003

マキシム・ジャクボヴスキー編『ロンドン・ノワール』扶桑社 2003

ジェフリー・アーチャー『獄中記 地獄篇』アーティストハウスパブリッシャーズ 2003 のち角川文庫

『獄中記 煉獄篇』アーティストハウスパブリッシャーズ 2004

ケリー・ジェームズ『哀しいアフリカ 国際女探偵、呪術の大陸に行く』講談社 2004

チャールズ・バクスター『愛の饗宴』早川書房 2004

マイケル・グルーバー『夜の回帰線』新潮文庫 2004

マイケル・Z. リューイン『探偵学入門』共訳 早川書房 (ハヤカワ・ミステリ) 2004

ローレンス・ブロック『砕かれた街』二見文庫 2004

ロレンゾ・カルカテラ『ストリート・ボーイズ』新潮文庫 2004

マイケル・Z. リューイン『探偵家族/冬の事件簿』早川書房 (ハヤカワ・ミステリ) 2004

アラン・マクファーレン『リリーへの手紙 祖父から孫に伝えたい20のこと』ソフトバンククリエイティブ 2005

カール・ハイアセン『幸運は誰に?』扶桑社ミステリー 2005

リチャード・モーガン『オルタード・カーボン』アスペクト 2005

ボストン・テラン『凶器の貴公子』文春文庫 2005

デイヴィッド・ベニオフ『99999』新潮文庫 2006

マイケル・Z. リューイン『カッティングルース』理論社 2006

マイケル・グルーバー『血の協会』新潮文庫 2006

ローレンス・ブロック『すべては死にゆく』二見書房 2006

ロバート・J. ランディージ『殺しのグレイテスト・ヒッツ』ハヤカワ文庫 2007

アルナルド・コレア『キューバ・コネクション』文春文庫 2007

エルモア・レナード『身元不明者89号』創元推理文庫 2007

リチャード・モーガン『ブローケン・エンジェル』アスペクト 2007

『インドの算数 インド学校公式教科書 バイリンガル完全版1』千葉敏生共訳 創美社 2007

ローレンス・ブロック『泥棒は深夜に徘徊する』早川書房 2007

ローレンス・ブロック『殺しのパレード』二見文庫 2007

レイモンド・チャンドラー『トラブル・イズ・マイ・ビジネス』共訳 ハヤカワ文庫 2007

マーク・ジェイコブスン『アメリカン・ギャングスター』共訳 ハヤカワ文庫 2007

シェリー・フレイドント『数独パズル殺人事件』ヴィレッジブックス 2008

ウォン・カーウアイ、ローレンス・ブロック『マイ・ブルーベリー・ナイツ』扶桑社 2008

ウィル・ノース『きみの遠い故郷へ』文藝春秋 2008

アガサ・クリスティ『ABC殺人事件』早川書房 2008

ローレンス・ブロック編『マンハッタン物語』高山真由美共訳 二見文庫 2008

ジャック・ヒギンズ、ジャスティン・リチャーズ『消せない炎』理論社 2008

トム・ロブ・スミス『チャイルド44』新潮文庫 2008

ローレンス・ブロック編『エドガー賞全集』木村二郎他共訳 早川文庫 2008

エド・マクベイン編『十の罪業』木村二郎、中川聖、白石朗共訳 創元推理文庫 2009

ベネット・ダヴリン『夢で殺した少女』ヴィレッジブックス 2009

トム・ロブ・スミス『グララーグ57』新潮文庫 2009

マーカス・バックingham『「興味」と「成功」の法則 “ほんとうのあなた”を仕事に活かそう!』濱野大道共訳 宝島社 2010

オットー・ペンズラー編『ポーカーはやめられない ポーカー・ミステリ書下ろし傑作選』共訳 ランダムハウス講談社 2010

リチャード・モーガン『ウォークン・フェアリーズ 目覚めた怒り』アスペクト 2010
ボストン・テラン『音もなく少女は』文春文庫 2010
デイヴィッド・ベニオフ『卵をめぐる祖父の戦争』早川書房 2010
サラ・ウォリス、スヴェトラナ・パーマー『私たちが子どもだったころ、世界は戦争だった』
共訳 文藝春秋 2010
ウィリアム・カムクワンバ、ブライアン・ミーラー『風をつかまえた少年』文藝春秋 2010 のち
文庫
キース・ドノヒュー『盗まれっ子』武田ランダムハウスジャパン 2011
トム・ロブ・スミス『エージェント6』新潮文庫 2011
ローレンス・ブロック『殺し屋 最後の仕事』二見文庫 2011
アガサ・クリスティー『カーテン』早川書房(クリスティー文庫) 2011
グレゴリー・デイヴィッド・ロバーツ『シャンタラム』新潮文庫 2011
ヨリス・ライエンダイク『こうして世界は誤解する——ジャーナリズムの現場で私が考えたこと』
高山真由美共訳 英治出版 2011
クリスティン・マッシュズ『主婦に捧げる犯罪』武田ランダムハウスジャパン(RHブックス・プラ
ス)2012
アニー・ジェイコブセン『エリア51 世界でもっとも有名な秘密基地の真実』太田出版(ヒストリ
カル・スタディーズ)2012
ライアン・デイヴィッド・ヤーン『暴行』新潮文庫 2012
ボストン・テラン『暴力の教義』新潮文庫 2012
ローレンス・ブロック『償いの報酬』二見文庫(ザ・ミステリ・コレクション)2012
L・ブロック、M・コナリー、J・ディーヴァー他『現代ミステリ傑作選 18の罪』共訳 ヴィレッジ
ブックス 2012
バリー・コンチー『ストレンクス・リーダーシップ—さあ、リーダーの才能に目覚めよう』加藤
万里子共訳 日本経済新聞出版社 2013
ロアルド・ダール『あなたに似た人 新訳版』ハヤカワ・ミステリ文庫 2013
ナード・ローゼン『捜査官ポアンカレ 叫びのカオス』レ早川書房 2013
ハーラン・コーベン『ステイ・クロース』ヴィレッジブックス 2013
リチャード・フィリップス『キャプテンの責務』ハヤカワノンフィクション文庫 2013
グレン・グリーンウォルド『暴露—スノーデンが私に託したファイル』濱野大道・武藤陽生共訳
新潮社 2014
ロアルド・ダール『キス・キス 新訳版』ハヤカワ・ミステリ文庫 2014
ロジャー・ホブbs『ゴーストマン—時限紙幣』文芸春秋 2014
ジェームズ・M・ケイン『郵便配達は二度ベルを鳴らす』新潮文庫 2014
ジェームズ・M・ケイン『カクテル・ウェイトレス』新潮文庫 2014
ローリー・ロイ『ベント・ロード』集英社文庫 2014
ローレンス・ブロック『殺し屋ケラーの帰郷』二見文庫 2014
マイケル・Z. リューイン『神さまがぼやく夜』ヴィレッジブックス 2015. 1
ロバート・ルイス・ステイヴンソン『ジキルとハイド』新潮文庫 2015. 2
クリス・カイル『アメリカン・スナイパー』ハヤカワ・ノンフィクション文庫 2015. 2
ローレンス・ブロック『獣たちの墓』二見文庫 2015. 4
ロアルド・ダール『来訪者 新訳版』ハヤカワ・ミステリ文庫 2015. 7
トム・ロブ・スミス『偽りの楽園』(上・下) 新潮文庫 2015. 8
デイヴィッド・バルダッチ編『フェイスオフ 対決』集英社文庫 2015. 9
ロバート・M・ニア『ナパーム空爆史 日本人を最も多く殺した兵器』太田出版 2016. 3
G・M・チェスタートン『ブラウン神父の無垢なる事件簿』ハヤカワ・ミステリ文庫 2016. 3
ジーン・マリー・ラスカス『コンカッション』小学館文庫 2016. 4
ローリー・ロイ『彼女が家に帰るまで』不二淑子共訳 集英社文庫 2016. 4
ジェフリー・アーチャー『新装版 獄中記1 地獄篇』ゴマブックス 2016. 4
ジェフリー・アーチャー『新装版 獄中記2 煉獄篇』ゴマブックス 2016. 4
ラドヤード・キプリング『ジャングル・ブック』新潮文庫 2016. 6
ロアルド・ダール『飛行士たちの話 新訳版』ハヤカワ・ミステリ文庫 2016. 8
クリス・ホルム『殺し屋を殺せ』ハヤカワ文庫 最新刊